

## 平成26年第9回白石町議会定例会会議録

会議月日 平成26年12月15日（第7日目）  
場 所 白石町役場議場  
開 会 午前9時30分

### 1. 出席議員は次のとおりである。

1番	川崎一平	10番	秀島和善
2番	前田弘次郎	11番	井崎好信
3番	溝口誠	12番	大串弘昭
4番	大串武次	13番	内野さよ子
5番	吉岡英允	14番	西山清則
6番	片渕彰	15番	岩永英毅
7番	草場祥則	16番	溝上良夫
8番	片渕栄二郎	17番	久原房義
9番	久原久男	18番	白武悟

### 2. 欠席議員は次のとおりである。

なし

### 3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町長	田島健一	副町長	杉原忍
教育長	江口武好	総務課長	百武和義
企画財政課長	片渕克也	税務課長	吉原拓海
住民課長	渕上隆文	保健福祉課長	堤正久
長寿社会課長	片渕敏久	生活環境課長	門田藤信
水道課長	荒木安雄	下水道課長	赤坂和俊
産業課長	赤坂隆義	農村整備課長	嶋江政喜
建設課長	岩永康博	会計管理者	岩永信秀
学校教育課長	本山隆也	生涯学習課長	小川豊年
農業委員会事務局長	一ノ瀬美佐子		

### 4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	鶴崎俊昭
議事係長	久原雅紀
議事係書記	片渕英昭

### 5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

12番	大串弘昭	13番	内野さよ子
-----	------	-----	-------

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案第75号 平成26年度白石町一般会計補正予算（第6号）  
（質疑・討論・採決）

日程第3 議案第76号 平成26年度白石町後期高齢者医療特別会計補正予算  
（第2号） （質疑・討論・採決）

日程第4 議案第77号 平成26年度白石町農業集落排水特別会計補正予算  
（第2号） （質疑・討論・採決）

日程第5 議案第78号 平成26年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計補正予  
算（第2号） （質疑・討論・採決）

日程第6 議案第79号 平成26年度白石町水道事業会計補正予算（第2号）  
（質疑・討論・採決）

---

## 9時30分 開議

○白武 悟議長

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

### 日程第1

○白武 悟議長

日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。

会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、大串弘昭議員、内野さよ子議員の両名を指名いたします。

### 日程第2

○白武 悟議長

日程第2、議案第75号「平成26年度白石町一般会計補正予算（第6号）」を議題とします。

質疑の際は、予算書の何ページ、説明資料の何ページとはっきりお示してください。

1ページから10ページまで質疑ありませんか。

○久原久男議員

7ページの15款、そして節の総務費補助金、この中の社会保障・税番号制度システムということで上がっておりますが、この税番号制度についての内容説明をお願いしたい。それから、この導入についてのメリットとかいろいろ、これが来年の10月から導入ということで、28年1月から開始ということだろうというふうに思いますが、こ

のメリットとデメリットも考えられるというふうに思います。この2点についてお願いいたします。

#### ○百武和義総務課長

この社会保障・税番号制度の件については、先ほどおっしゃったように、全国民に個人番号をつけるものでございまして、全国民12桁の個人番号がつくということになります。これを平成27年10月に番号を決定いたしまして、通知を開始して、平成28年1月から利用を開始するという予定になっております。どんなものに利用されるのかということですが、これについては例えば税関係とか、それから国民年金関係、国保税関係、こういったものについて全ての個人の番号をもとに調査をすることができる、それとあと他の市町村間とも連携した情報をとることができる、こういったことがメリットというふうになっておるところでございまして、

以上です。

#### ○久原久男議員

メリットのほうは大体わかりますが、カードでありますから、この悪用とかいろいろなデメリットのほうもあるんじゃないかと考えるわけですが、その点については、

#### ○百武和義総務課長

このデメリット面でございますけれども、今先ほど言われたように、悪用とかそういった心配もあるということから、セキュリティー面では十分に検討がなされておりました、そういったセキュリティー関係の組織を立ち上げながら、それをもとに管理をしていくとか、そういったことも計画をされているようでございます。

以上です。

#### ○久原久男議員

システム整備ということで、その整備のほうの機材購入とかいろいろなことが考えられるわけですが、そういうことで理解でよろしいですかね。

#### ○百武和義総務課長

今回の補正予算につきましては、歳出の、ページでいえば13ページですね、13ページの真ん中付近に、情報化推進費の19節負担金補助及び交付金で、中間サーバー・プラットフォーム利用負担金、社会保障・税番号制度98万1,000円ということで予算を上げておりますけれども、これが歳入に関連をする予算でございまして、この負担金の内容につきましては、この税番号制度を先ほど言いましたように市町村間で利用する際に、国のほうで2カ所、このプラットフォームと言われておりますけれども、中間サーバーを東日本に1カ所、西日本に1カ所、合計2カ所設置をされてプラットフォーム的な活用というか、そういったものをこの中間サーバーを使用してされるという予定になっておりました、この負担金が人口割等で、本町のほうは98万1,000円という試算になっております。先ほどの歳入のところでの補助金については508万1,000円

ということになっておりまして、この歳入の振り分けについては、先ほどの98万1,000円に充てまして、その残りの410万円については電算センターの負担金に充当ということで、この税番号制度システムについては杵藤広域圏のほうでまとまって進めていくということにしておりまして、この電算センター負担金に充当するというにいたしております。

以上でございます。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、11ページから22ページまで質疑ありませんか。

#### ○川崎一平議員

説明資料の3ページ、地域おこし協力隊推進事業ということで予算が組まれておりますが、ここで白石町のPRをして都心部から白石町へと人材を確保するという感じで捉えておりますけれども、今白石町の具体的にどういったPRの仕方で都心部からこちらのほうへと人材を引き込むかという部分が1点ちょっと疑問に思っております。ほかこういった事業をやられている地域は、ものすごい田舎の山間部でもインターネット環境がかなり充実していると、そういったネット環境を売りにとか、そういった感じでPRをされておりますけど、白石町として具体的にどういったPRをされるのか、お聞きしたいと思います。

#### ○赤坂隆義産業課長

今回、地域おこし協力隊推進事業ということで31万円のお願いをいたしておるところでございますけど、どういうPRをするのかということですが、一応うちのほうも今言われましたインターネットにつきましては、町内に来られた方は町内に居住することになっておりますので、一応インターネット環境はケーブル網ができておりますので、そういうような部分もPRの一つかなというふうに思っております。今回、うちが募集いたしますのは、説明のときに申しましたとおり、今回の道の駅の計画があります。その母体、運営の母体となります運営の母体の立ち上げ、またルールづくりとか、商品開発等に向けて、詳細には決まっておりますけど大まかなそういったあたりを業務の内容として募集を行いたいというふうに思っております。

以上です。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

#### ○溝上良夫議員

先ほどの説明資料の3ページ分ですけど、まず1つは新規事業ということですが、これ募集のPRを行って人材が確保できない場合、まだ継続をするのかどうか。

それと、東京、神奈川を中心に首都圏エリアに住まいの方にPRをするということですが、東京だけのPRになるのか、全国的なPRになるのか、そこら辺をお伺いします。

#### ○片渕克也企画財政課長

この地域おこし協力隊の事業の概要を申し上げますと、基本的には3大都市圏の方たちを募集をしまして、そして過疎地域とかそういった辺地とかそういった地域を活性化のために協力をお願いするというふうな事業の趣旨でございます。

今回の改正をされまして、必ずしも3大都市圏、大都市圏以外でもいいというふうな特例ができてはおりますけれども、基本的には首都圏を中心としたところから若い人材を招聘をしまして、今考えております道の駅等の推進母体等の組織づくりに当初から加わっていただいて、できれば将来的にその運営等も携わっていただいて、白石町に永住していただければというふうな考えを持っているところでございます。

以上でございます。

#### ○溝上良夫議員

最初に聞いた継続事業になるのかどうかという面ですけれども、PRをしまして、それで終わりなのか。どこまで追跡、追跡というか、見つかるまでするものなのか、PRをするだけなのか、そこら辺のところをお伺いします。

#### ○片渕克也企画財政課長

基本的に31万円の補正予算をお願いしておりますが、できればこの予算で人材を見つけたいと考えております。しかし、人材が見つからなかった場合は、継続してその人材を捜していくというふうなことを考えております。これに関しましては、募集経費1自治体当たり年間200万円を限度として特別交付税の措置がなされておりますので、継続して優秀な人材を探したいというふうに考えております。

以上です。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようでございますので、23ページから最終の39ページまで質疑ありませんか。

#### ○川崎一平議員

予算書の27ページ、説明資料の5ページ、水産振興費の部分ですけれども、あそこの港の完成工事と、完成に伴った記念式典ということで予算を組まれておりますけれども、式典の詳細な内容というのはまだ決まってないと思いますけれども、どういった、ただ単に式典で終わるのかというような感じでちょっと疑問に思っておりますけれども、今わかる範囲で結構ですんで、どういった式典のスケジュール的に一日の流

れがどういうふうになるのかというのを御説明いただきたいと思います。

### ○嶋江政喜農村整備課長

新有明漁港の完工式典でございます。一応日にちは3月23日ということで計画をしております。現在内容については白石町水産振興協議会の幹事会という中で今のところ検討はしております。基本的には、まず漁港の一応まだはっきり決まっておりますけど、一応有明側のほう、旧有明側のほうで一応神事を行うことにいたしております。その後、郷土芸能披露とか、あとは今まで業者とかあと用地買収をしたときの土地の地権者に対しては感謝状でもやったほうがいいんじゃないかなということで、そこら辺も考えておりますし、あとはまだちょっとはっきり決まっておりますけど、立食のパーティーぐらいはしたほうがいいんじゃないかなという話も出ております。まだ、これについても最後まで決まっておりはしません。今のところちょっと協議中でございます。一応やるという方向ではいってまますけど、それで一応積算上は99万円程度かかるんじゃないかなと、それを町と漁協で折半してお互いに出して式典をやりましょうと、今後の水産振興のために外部に向けてのPRも兼ねてやりましょうということで計画をしているところでございます。

以上です。

### ○川崎一平議員

あそこの港というのが、私もよく行くんですけれども、県内でもまさに一、二番じゃないかって、私の中では県内でも一番立派に整備されたすばらしい港だと思っております。せっかくそこで式典を行われるわけなんですけれども、日にちも3月の後半ということで春の兆しが見えている、若干天気にもよりますけれども、ぼかぼかしたような陽気で、その記念すべき式典に一般の方も来ていただけるようなイベントとか、農産物、海産物、直売なり、商工会との連携をとりながらも、そういったイベント的な部分もせっかく盛大にやる一日なんで、あそこは割と駐車場なんかもそう心配ないくらいの立地ではありますんで、そういったイベントを絡めてたくさんの人にあそこを見ていただいて、白石町にこんなすばらしい港も整備されているんだということでさらなる多くの人に来ていただけるようなイベントもあわせて考えていただきたいなというふうに思っておりますけど、どうでしょうか。

### ○嶋江政喜農村整備課長

議員おっしゃるように、単なる式典ではせっかくお金をかけるわけでございますからそこら辺も今後幹事会のほうの中で協議いたしたいと思っております。そして、あそこが漁港周辺を要するに観光という目的も兼ねるということで整備は一応してはおりますので、そういう面も今後力を入れていって、例えば干潟を見に来てもらえとか、そういうこともやっぱりPRをしていかなくちゃいけないのかなということで考えております。

以上です。

### ○久原房義議員

説明資料の4ページでございますが、農地集積による交付金事業ということでございます。今回は、4戸の農家の方が農地を出されるということでの交付金であるわけですが、ただこの既存の集積というのは非常にいいことだというふうに思っております。もう一つは、今現在大規模化に向けていろいろほかの農地を受けて耕作をやっていただいている方々もたくさんいらっしゃいますけども、非常に大規模化すると農地が点在して非常に効率が悪いと。今現状ですよ。この事業もそういったことをなくしていこうというのがこの事業ではあるわけなんですけども、現在までのそういう点在しておる農地をできるだけ交換とかやりながら集積する手だて、そういったものが今農業委員会あたりで取り組まれているのかどうか、その辺をまずお伺いしたいということと、それと受け手ですね、受け手、耕作者に対しては10アール当たり2万円が交付されるようになっておりますけども、これはいつごろ、いつですね、当然予算に出てくるかとは思いますが、いつ交付がなされるのか。まず、その点をちょっとお尋ねします。

### ○一ノ瀬美佐子農業委員会事務局長

議員のおっしゃるとおり、大規模化している担い手には点在している農地が多いわけではございますが、現在交換というところでは出てきておりませんが、その周辺に集積されているという状況はございます。最近出てきている分が、お互い売買されて交換をされているという事例はございます。なるべくそういうところで交換じゃないですけども集積は図っていきたいというところは考えているところでございます。

### ○赤坂隆義産業課長

今、反当2万円ということで御質問の件ですけど、これは多分耕作者集積協力金のことではないかなというふうに思ってますけど、一応この事業につきましてはこの交付対象者とか交付要件、書いてますとおり、機構が借り受けている農地に隣接する農地を出す場合、出す場合にその耕作者に2万円を助成するというものでございます。これにつきましても、交付要件ということで10年以上貸し付け、また農地が機構から受け手に貸し付けられることとなっております。7月、11月に、今公募をとっておりますけれども、これに対する申し込みといいましょうか、申請はあっておりません。以上です。

### ○白武 悟議長

交付の時期はいつかということ。

### ○赤坂隆義産業課長

交付の時期ですか。（「受け手の」と呼ぶ者あり）受け手の……。

### ○白武 悟議長

交付金でしょ。

**○赤坂隆義産業課長**

交付金という意味ですかね。

**○白武 悟議長**

今カウントしてませんから、どうぞ。

**○久原房義議員**

どうもちょっと、私が質問の仕方が悪いのかもわかりませんが、農地を出された4戸の方があるわけですね。それを受ける方、受ける方に対しての交付金、これは、のことでしょ、耕作者集積協力金、③ですね。それが、受け手がいつごろ決定をして、そして交付金がいつ交付されるかということをちょっとお尋ねしたかったわけです。

**○赤坂隆義産業課長**

一応この今回お願いしてますのは、今2番目に掲げております経営転換協力金でございます。4戸の方が合計の面積で3.04ヘクタールを出されております。この人たちに面積に応じて30万円、50万円、70万円というふうに交付がなされます。受け手の方には、今回の中間管理機構の事業では、受け手の方には交付が金の直接交付はございません。（「いつ交付金が」と呼ぶ者あり）この経営転換金の交付につきましては、今回補正をお願いいたしまして3月中には交付をしたいというふうに考えております。以上です。

**○久原房義議員**

ちょっと私勘違いかもわかりませんが、結局受け手にも交付金があるように説明資料には、この説明資料じゃないですよ、借り受けた方にもその支援策があったでしょ。今ちょっと手元にはないんですけども、そういうふうに私見ておったかなと思っておりますけども。借り手のほうにもですね。恐らくこのチラシが以前配布されたですよ、その中に受け手にもいわゆるこういう支援策が書いてあったと思うんですよ。そのことをちょっとお尋ねしよったわけです。

**○赤坂隆義産業課長**

昨年までは、規模拡大加算というて、10アール当たり2万円助成がありました。この分がなくなっております。受け手の方に対する助成はなくなっております。以上です。

**○白武 悟議長**

ほかに質疑ありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第75号「平成26年度白石町一般会計補正予算（第6号）」について採決をいたします。本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第75号は原案のとおり可決されました。

### 日程第3

#### ○白武 悟議長

日程第3、議案第76号「平成26年度白石町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」を議題とします。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第76号「平成26年度白石町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」について採決をいたします。本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第76号は原案のとおり可決されました。

### 日程第4

#### ○白武 悟議長

日程第4、議案第77号「平成26年度白石町農業集落排水特別会計補正予算（第2号）」を議題とします。

質疑ありませんか。

#### ○溝上良夫議員

8ページ、修繕料の128万2,000円ですかね、農集が始まってそれなりに年数たっているところがありますけども、これから先どういうふうな修繕料がかかってくるのか、年数がたてばたつほど修繕料のほうがかかってくると思います。近年、修繕料それなりに上がってきておりますけども、そういうところの先の見通しですね、そういうふうなところを考えてらっしゃるのかどうか、お伺いいたします。

#### ○赤坂和俊下水道課長

お答えさせていただきます。

農集施設につきましても、10年以上たっている地区が多くなってきております。と

ということで、修繕料も年々ふえている傾向でございます。今回も空気弁とかコントローラー等も10年ぐらいすれば劣化等がかたくなって、機能を十分発揮しないということをお願いをしておりますけども、今後の施設の考え方ですけれども、まずこういうふうになくなってきますと、一度施設の機能の診断を行ってます。22年に行いましたけども、そのときに今後のストックマネジメントといたしまして、長期寿命化計画に基づくその最適な整備構想と、その施設の状況によって最適な整備構想も随時見直しは行っていきますけども、やはり大きな費用がかかる分につきましては、一度機能強化事業、要するにその機能を十分修復させるということで、国庫補助事業で一度取り入れて、そこで機器等の劣化した分を交換を行いたいと、改修を行っていきいたいということで、施設を年々計画を立てていきいたいと思っております。特に、牛屋西分のほうが最初に取り組みたいということで、あそこは硫化水素の関係で牛屋東分のほうから圧送してありますので、硫化水素でコンクリートの水素とか結構剥離しておりますので、そういった硫化水素対策ということでまず取り組んでいきいたいと。次に、また下区とか住ノ江地区の施設についても計画を行っていきいたいと。その後は、どうしても消耗的なことは発生しますので、オーバーホールですね、オーバーホールを行いながら、消耗品については適宜交換していくということで、計画的な取り組みを行っていかないと、やはり年数がたつて瞬時そういうのが発生するとなかなか対応が難しくなってきます。大きな金額が発生しますので、なるべくそういった定期的な点検に基づいてやっていって最少な費用で長寿命化を図っていきいたいという考えを持っています。以上でございます。

#### ○溝上良夫議員

下水道の運営は、安定した運営をするためにはまず加入率を上げるというのがありますけども、ここ近年加入率が頭打ちのような気がします。その対策として何か考えてらっしゃるのかどうか。難しい面だと思いますけども。

#### ○赤坂和俊下水道課長

そうですね。収入としては、もう使用料、要するに加入率を上げないと経営的にも支出のほうが増えてきておりますので、当然お願いをしております。まずは、受益者のほうにもそういった趣旨を理解していただくために、隔年、2年に1度は各地区の未接続者の方に訪問いたしましてお願いするということと、今後の計画も十分お聞きしながら進めております。そこで、これも一つの将来的な話になると思うんですけども、公営企業会計のほうも各市町のほうにもそういう導入の方向で説明がなされてますけれども、公共と農集と一つの会計でやっていかなければ、農集だけの会計では難しい面もあるというふうにも思っております。しかし、まず第一は接続率を上げるということを前提にやっていって、それでも下水道全体としての経営を安定化させるためには別な方法も考えていく必要もあるのではないかなというふうな考えを持っております。

以上でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○溝口 誠議員

8ページの総務管理費ですけれども、負担金補助及び交付金の134万5,000円、上水道システム改修負担金ですけれども、このメリットといいますか、そこら辺をお話をお願いします。

○赤坂和俊下水道課長

19節の負担金補助及び交付金の中で、上水道システム改修負担金ですね、134万5,000円ということをお願いいたしておりますけれども、この部分は、来年4月から、下水道と水道料金を同時に徴収するというので、下水道を各水道事業者のほうに委託するための負担金ということをお願いしておりますけれども、この分は西佐賀水道企業団のほうにお願いしますそのシステム改修費であったり、機器の導入に伴うソフトの導入、ソフトの改修とか、なってきますけれども、メリットですね、来年4月からの受益者のメリットということで、まず窓口が一本化になるということですね。受益者の方が使用開始とか、使用休止、停止をされる場合、現在のところ、水道課のほうにも来ていただいて、下水道課のほうでも手続をしてあるということ、もしそういうことが水道課だけで終わって、下水道課にはちょっと忘れたということになれば、その辺も追跡とかいろいろ出てきますので、そういう事務の方のサービスですかね、そういうのも向上していくのではないかと考えています。コンビニ収納も可能になってまいります。それと、徴収委託をするわけですので、下水道課の庶務ですね、そういった今までの事務的にも効率になるとは思っております。

以上、そういうことですね。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第77号「平成26年度白石町農業集落排水特別会計補正予算(第2号)」について採決をいたします。本案に賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

起立全員です。よって、議案第77号は原案のとおり可決されました。

日程第5

○白武 悟議長

日程第5、議案第78号「平成26年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計補正予

算（第2号）」を議題とします。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第78号「平成26年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計補正予算（第2号）」について採決をいたします。本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第78号は原案のとおり可決されました。

## 日程第6

### ○白武 悟議長

日程第6、議案第79号「平成26年度白石町水道事業会計補正予算（第2号）」を議題とします。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第79号「平成26年度白石町水道事業会計補正予算（第2号）」について採決をいたします。本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第79号は原案のとおり可決されました。

以上で本日の議事日程は終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

10時09分 散会

---

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成26年12月15日

白石町議会議長 白 武 悟

署 名 議 員 大 串 弘 昭

署 名 議 員 内 野 さよ子

事 務 局 長 鶴 崎 俊 昭